

プレイベント（市民公開講座）【10月12日（土）】

A会場（大ホール）

18:00~20:30 「いのちの停車場」上映 + 南杏子トークの夕べ

聞き手：浅見 洋（石川県西田幾多郎記念哲学館）

司会：彦 聖美（公立小松大学保健医療学部）

第1日目【10月13日（日）】

A会場（大ホール）

9:40~9:50 開会式

開会の言葉

長江 弘子（亀田医療大学看護学部・学会長）

10:00~10:50 学術集会長講演

座長：彦 聖美（公立小松大学保健医療学部）

悲しみによりそうエンドオブライフケア

浅見 洋（石川県西田幾多郎記念哲学館）

11:10~12:10 シンポジウム2

『医療と暮らしを繋ぐエンドオブライフケア』

座長：長江 弘子（亀田医療大学看護学部）

地域中核医療機関におけるACPとエンドオブライフケア

卜部 健（白山石川医療企業団）

病院から在宅へ地域包括ケア病棟の取組

仲井 培雄（芳珠記念病院）

在宅におけるエンドオブライフケア

野口 晃（かがやき在宅診療所）

プログラム

12:20~13:10 ランチョンセミナー

13:20~14:20 特別指定講演

座長：浅見 洋（石川県西田幾多郎記念哲学館）

日本人の死生観とグリーフケア

島園 進（東京大学名誉教授）

14:30~15:20 特別講演2

座長：平松 知子（金沢医科大学看護学部）

エンドオブライフケアの視点に立った認知症診療

北村 立（石川県こころの病院）

15:30~17:30 市民公開シンポジウムI

『最後までその人らしく過ごすための社会基盤づくり』

座長：足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

対話を通して生と死を学びあう

竹之内 裕文（静岡大学未来社会デザイン機構・農学部）

高齢者の語りにみるエンドオブライフに対する心理

島田 千穂（佐久大学人間福祉学部）

死とともに生きる文化を育むために

田代 志門（東北大学大学院文学研究科）

B会場（2階大会議室1）

10:00~11:00 シンポジウム1

『がんとの向き合い方を考える』

座長：加藤 亜妃子（金城学院大学看護学部）

元ちゃんハウスでの向き合い方

西村 詠子（認定NPO法人がんとむきあう会）

院外で開催されるがんサロンの役割とその意味

牧野 智恵（がんサロン「ロゴス」・石川県立看護大学名誉教授）

金沢大学医学生と「生と死」を考える実習から向き合い方を考える

山田 圭輔（金沢大学附属病院緩和ケアセンター）

プログラム

11:10~12:10 シンポジウム3

『地域で生ききるエンドオブライフケアーホームホスピスの挑戦ー』

座長：久米 真代（福井県立大学看護福祉学部）

暮らしの中にある看取りと生と死の文化のあるまちづくり

榊原 千秋（NPO法人ホームホスピスこまつ）

死の床ーdying bedーを共にするホームホスピスの看取り

中村 順子（NPO法人ホームホスピス秋田）

とも暮らしの家で生ききるーホームホスピスという選択ー

松本 京子（認定NPO法人神戸なごみの家）

13:20~14:20 シンポジウム4

『療養者と医療・福祉資源を繋ぐ』

座長：小野 若菜子（聖路加国際大学看護学部）

入退院を繰り返す心不全患者の終末期における在宅支援ー医療・介護との連携事例ー

島野 麻里子（浅ノ川心臓血管センター金沢循環器病院）

医療介護連携におけるケアマネジャーの役割と課題

小泉 明代（かほく市社会福祉協議会中央居宅介護支援事業所）

その人らしく過ごすための在宅支援

山越 亜由美（石川県医療在宅ケア事業団）

14:30~15:20 教育講演1

座長：曾根 志穂（金城大学公衆衛生看護学専攻科）

葬儀とグリーフケア

佐久間 庸和（株式会社サンレー代表取締役社長）

15:30~16:20 指定講演4

座長：川島 和代（石川県立看護大学看護学部）

「ものがたり」から考えるエンドオブライフケア

佐藤 伸彦（医療法人社団ナラティブホーム）

16:30~17:20 教育講演2

座長：橋本 智江（金沢医科大学看護学部）

エンドオブライフの暮らしを支える住まい

市川 秀和（福井工業大学大学院工学研究科）

第2日目【10月14日(月・祝)】

A会場 (大ホール)

9:30~10:20 指定講演1

座長：原沢 優子 (豊橋創造大学保健医療学部)

つなぐ ささえる エンドオブライフケア

薬袋 淳子 (岐阜医療科学大学看護学部)

10:30~12:00 市民公開シンポジウムⅡ

『西田幾多郎・鈴木大拙の死生から考えるエンドオブライフ』

座長：高橋 在也 (日本在宅ケアアライアンス事業部)

企画：市民と専門職が協働するための実践・教育・研究委員会

オペラZENにおける大拙と幾多郎の生きざま

松田 章一 (前鈴木大拙館館長)

燃やし尽くさん残れる命

竹村 牧男 (前東洋大学学長)

聞き手：浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館)

12:10~13:00 第7回学術集会事務局主催 能登半島地震チャリティ ランチイベント『能登の人々と暮らしに寄り添って』

13:50~14:40 特別講演1

座長：秋山 正子 (マギーズ東京センター長)

死を迎える人の覚醒：いのちを活かす対話を求めて

岡田 圭 (専門チャップレン協会全米認定チャップレン)

14:50~15:50 シンポジウム6

『地域住民と創造するエンドオブライフケア』

座長：金谷 雅代 (金城大学看護学部)

在宅医療・介護連携推進とエンドオブライフケア

角地 孝洋 (小松市役所長寿介護課)

この町で暮らし続けたいを実現するために -宝達志水町の取り組み-

舟田 眞美 (町立宝達志水病院)

自分らしい生き方・看取りを考える取り組み (市民と医療・介護従事者との座談会を行って)

藤井 美喜子 (かほく市長寿介護課)

プログラム

B会場 (2階大会議室1)

9:30~10:20 指定講演2

座長：牧野 智恵 (がんサロン「ロゴス」・石川県立看護大学名誉教授)

「答えのない問い」を温める - 無心とネガティブ・ケイパビリティ

西平 直 (上智大学グリーンケア研究所)

10:30~12:00 教育シンポジウム

座長：本村 昌文 (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

現代の高齢者の〈迷惑〉意識

吉葉 恭行 (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

老いの現場からみる〈迷惑〉意識：3つのフィールドをめぐって

小野 真由美 (立命館大学文学部)

老い・看取り・死をめぐる〈迷惑〉意識の歴史的考察

本村 昌文 (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

13:50~14:20 指定講演3

座長：川上 千春 (聖路加国際大学看護学部)

コンパッション都市・コミュニティコンパッション—喪失と死を共に受けとめ、助け合って生きる

竹之内 裕文 (静岡大学未来社会デザイン機構 農学部)

14:50~15:50 シンポジウム5

『エンドオブライフケアにおける宗教者の役割』

座長：内 慶瑞 (金城大学人間社会科学部)

臨床宗教師の理念と教育

谷山 洋三 (東北大学大学院文学研究科)

その人らしさとは

出島 元寿 (日蓮宗妙法寺住職)

スピリチュアルケアにおける宗教者と非宗教者の協働

山本 佳世子 (天理大学人文学部)

プログラムについて

- *今回公開した演題は全て仮題です。変更される可能性があります。ランチョンセミナーは後日公表いたします。
- *C会場（口演発表、委員会企画、交流集会）のプログラムは後日公表いたします。
- *大展示ホールでは示説発表、小展示ホールでは広報委員会企画「あなたのエンディングストーリーを聞かせてください」のパネル展示を行います。